事例No.	2373
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	長野県松川町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	集落対策・集落支援員

事例内容・タイトル

集落支援員と地域おこし協力隊の連携による滞在交流プログラムの構築

出典

集落支援員　最近の取組事例紹介　平成29年度

集落支援員～取組事例～①

長野県松川町（まつかわまち）

（平成29年度：6名）

【概要】
・地域おこし協力隊とともに、集落住民の生きがいづくりや誇りの醸成に取り組む。

【活動内容】
・交流人口の拡大に向けて、外部有識者や住民で構成する観光交流地域づくり戦略会議をコーディネート
・集落独自の価値を体感できる滞在交流プログラムを住民とともに構築



【ポイント】
・地域おこし協力隊とともに活動することで、地域内外の視点を活かし、より魅力ある滞在プログラムとなるよう取り組んでいる。

長野県白馬村（はくばむら）

（平成29年度：2名）

【概要】
・村内に2名配置。小規模集落を中心に、集落点検の実施や話し合いへの参加のほか、住民の生活上の困りごとの相談役としても活動。

【活動内容】
・奥地の集落に住む高齢者への声かけ
・外国人住民との懇談会への参加
・小規模集落の普請補助



【ポイント】
・2名のうち、一方は白馬村の出身者、もう一方は移住者で、職歴等も全く異なる。異なったノウハウを持つ支援員を配置することにより、地域の課題を幅広くカバーしている。

和歌山県紀美野町（きみのちょう）

（平成29年度：10名）

【概要】
・看護師資格を持った2名の支援員が、定期訪問等の高齢者支援活動を行う。

【活動内容】
・独居高齢者、要配慮者宅の訪問。生活や身体の状況を聞き取りし、困りごとや相談があれば各関係機関に橋渡しをする。
・民生委員、児童委員と協力し、高齢者等の情報を共有して、見守り体制を強化



【ポイント】
・交通機関が少なく病院に行きにくい高齢者が多いという地域の実情に合わせた集落支援員を配置することで、細かい目配りができ、住民から好評を得ている。

山口県長門市（ながとし）

（平成29年度：4名）

【概要】
・共通の課題を抱える複数の自治会や、地域づくり活動に取り組む団体で設立した「地域づくり協議会」のコーディネートを行う。

【活動内容】
・集落支援員が調整役となって、自治会単位や地域活動団体、協議会全体など、様々なレベルでワークショップを複数回開催し、地域の意見をくみ上げることで、まちづくりプラン（地域の夢プラン）の策定に結びつける。



【ポイント】
・協議会の下部組織では、高齢者サロンの実施等の地域おこし活動にも取り組んでおり、集落支援員が地域での話し合いの推進や地域おこし活動に多角的に取り組んでいる。

※人数は各市町村における専任の集落支援員の総数（特交ベース）であり、上記の取組以外の活動を行っている集落支援員も含まれる。